

01

2020.05

ウルトラ バランス

世界株式

バランスファンドのその先へ

ウルトラバランス 世界株式

追加型投信／内外／資産複合

運用経過報告資料
(2019年8月23日～
2020年8月31日)

 アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第387号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

【本資料のご利用についてご留意いただきたい事項】

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は当社が信頼できると判断した情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中に記載した内容、数値、図表等は、当資料作成時点のものであり、今後、予告なしに変更することがあります。当資料中で使用している各指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。当資料中のいかなる内容も将来の投資成果を示唆ないし保証するものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえお客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。投資信託は預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の補償の対象ではありません。当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

ここまでの運用を振り返りまして

基準価額（2020/8/31現在） 11,095円

「ウルトラバランス 世界株式」は、「ウルトラマザーファンド」受益証券を通じて実質的に世界各国の株式に投資するとともに、国内外の債券先物取引及び米国の金先物取引を活用し、一般的なバランスファンドの先を行くリターンを追求するファンドです。

- ✓ 世界株式への投資は「世界株式最小分散ETF」を活用し、価格のブレを抑えつつ、高いリターンを狙います。
- ✓ ファンドの値動きを安定させる資産として、米国・フランス・日本の国債先物、米国の金先物に合計で210%の投資を行ないます。
- ✓ 株式への投資が約80%ですので、組入比率の合計は信託財産の純資産総額の約290%です。

2019年8月23日に運用を開始し、1年が経過しました。金融市場が大きく変動する中、10%超のリターンを確保できています。運用経過につきましては次ページ以降をご覧ください。

右側に各資産の今後の見通しを記載しておりますので、ご参考にしていただければ幸いです。

【世界株式の見通し】

新型コロナウイルスの感染拡大は欧州や中南米、インド・インドネシアなどで勢いを増していますが、一方で治療法やワクチン開発も進展しており、**今年下半期の世界経済は緩やかな回復基調を辿る**と見ています。各国政府や中央銀行の景気支援策の継続も相場を支えると考えられますが、米中対立の先鋭化、英EU離脱条件交渉の停滞、米大統領選挙などの**リスク要因も山積**しており、期待先行で上昇してきた株式相場は上値が重くなる局面もあろうかと予想しています。

【各国国債先物の見通し】

コロナ禍の経済への悪影響を緩和するために、各国中央銀行は過去最大級の景気支援策を打ち出しました。経済正常化の道筋が見えるまでは金融緩和を継続する見通しですが、緩和余地は限定的となっており、国債先物はレンジ内での動きになると想定しています。ただし、株式見通しに記載の通り、山積しているリスク要因が顕在化したときには**安全資産として選好され、ファンドのパフォーマンスを支えてくれる**と期待しています。

【米国金先物の見通し】

米国金先物は、堅調な展開を予想します。米連邦準備理事会（FRB）が低金利政策の長期化を示唆し、インフレ目標の柔軟な運用を表明したことで、米実質金利は歴史的な低水準となっており、利息の付かない金のデメリットが薄れ、投資妙味が高まっています。史上最高値近辺で推移していますが、**さらに上値を試す場面**があろうと予想しています。

※基準価額（分配金込み）は信託報酬等控除後のものです。基準価額は10,000口当たりで表示しています。あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果とは異なります。

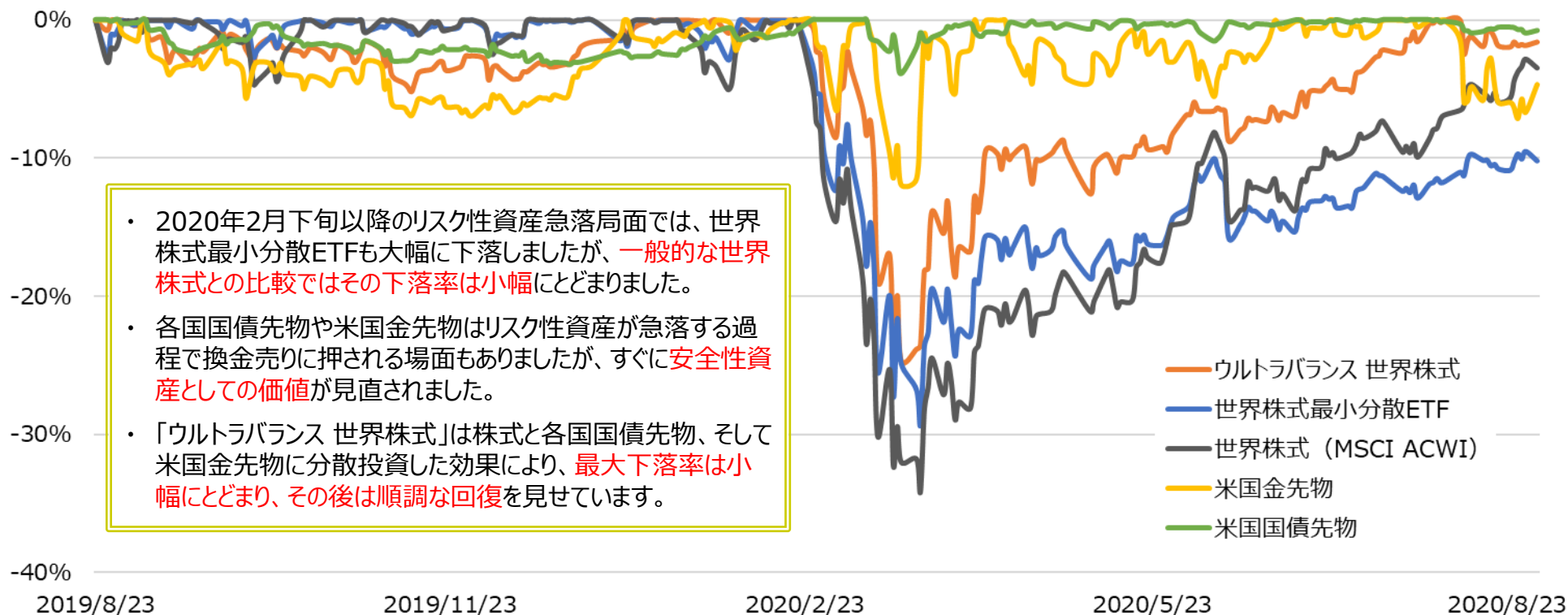
「ウルトラバランス 世界株式」の運用実績（2019年8月23日（設定日）～2020年8月31日）



※基準価額（分配金込み）は信託報酬等控除後のものです。基準価額は10,000口当たりで表示しています。課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定しています。その他の資産は2019年8月23日を10,000円として指数化しています。ブルームバーグのデータを基にアストマックス投信投資顧問株式会社が作成。あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税金、手数料等を考慮していませんので、投資家の皆様の実際の投資成果とは異なります。グラフにおいて使用している価格や指数等については後掲しております。

「ウルトラバランス 世界株式」の下落率推移（設定日～2020年8月31日）

	ウルトラバランス 世界株式	世界株式 最小分散ETF	世界株式	米国金先物	米国国債先物
最大下落率	▲24.7%	▲29.3%	▲34.2%	▲11.9%	▲3.9%

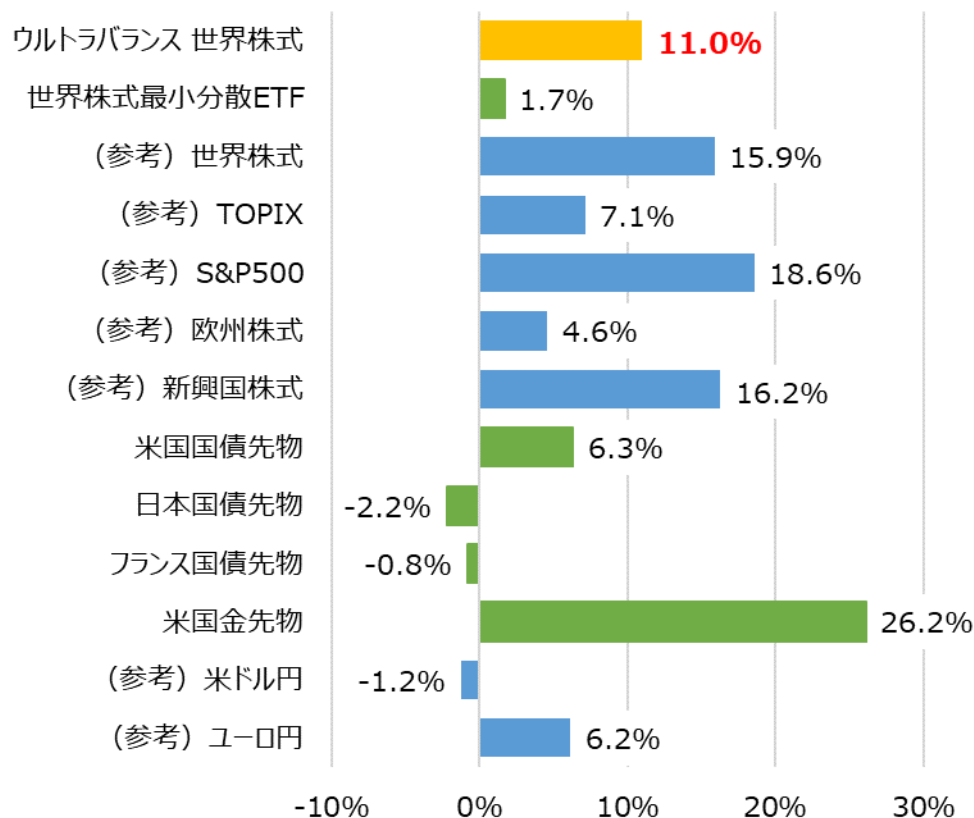


- 2020年2月下旬以降のリスク性資産急落局面では、世界株式最小分散ETFも大幅に下落しましたが、**一般的な世界株式との比較ではその下落率は小幅にとどまりました。**
- 各国国債先物や米国金先物はリスク性資産が急落する過程で換金売りに押される場面もありましたが、すぐに**安全性資産としての価値**が見直されました。
- 「ウルトラバランス 世界株式」は株式と各国国債先物、そして米国金先物に分散投資した効果により、**最大下落率は小幅にとどまり、その後は順調な回復**を見せています。

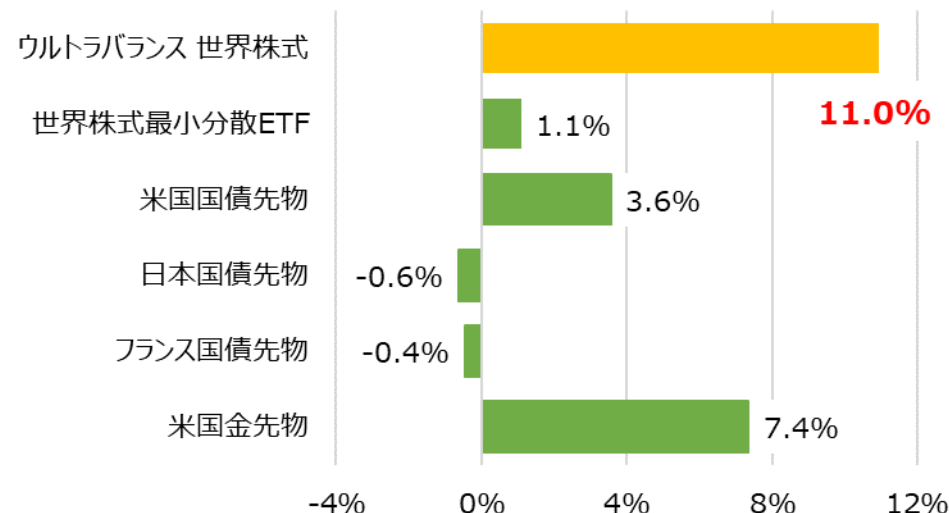
※基準価額（分配金込み）は信託報酬等控除後のものです。下落率は課税前分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定して計算しています。ブルームバーグのデータを基にアストマックス投資信託投資顧問株式会社が作成。あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果とは異なります。グラフにおいて使用している価格や指数等については後掲しております。

各資産のパフォーマンス貢献度（2019年8月23日～2020年8月31日）

「ウルトラバランス 世界株式」の実質的な投資対象と他資産のパフォーマンス比較



各資産のパフォーマンスへの貢献度分析



- ✓ **世界株式最小分散ETF**はコロナショック後の戻りが鈍く、パフォーマンスへの貢献度はわずかにとどまっています。
- ✓ 米FRBの過去に例のない超金融緩和政策とその長期化観測から**米国国債先物**の貢献度が高くなりました。
- ✓ **米国金先物**は、米国の実質金利が過去最低水準まで低下したことから投資資産としての魅力度がアップし、パフォーマンスの牽引役となりました。

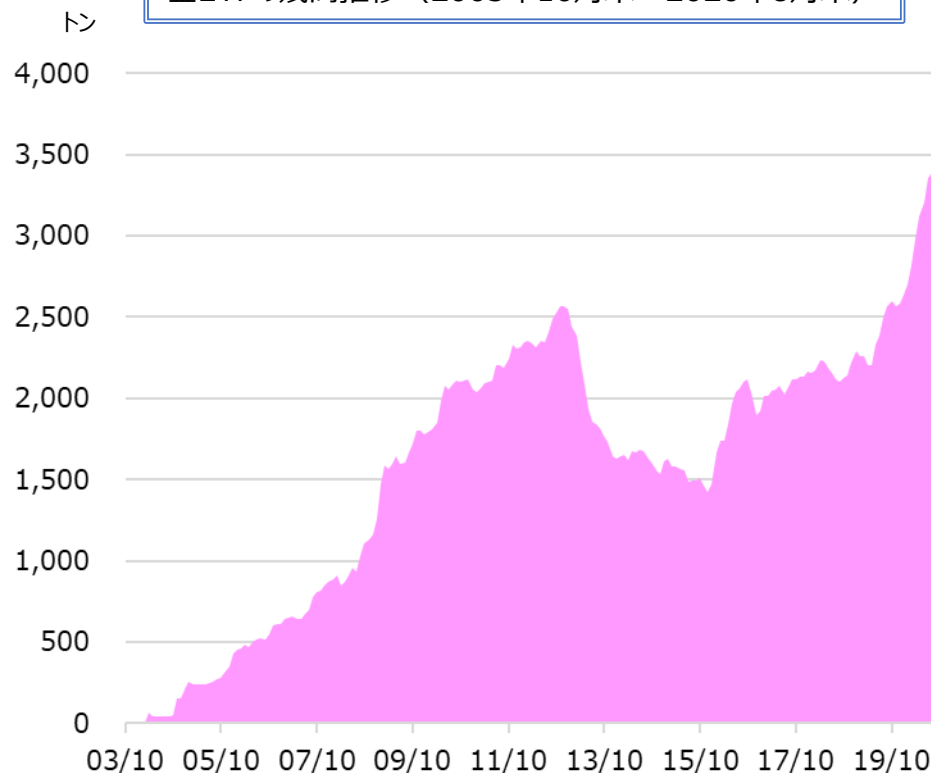
※基準価額（分配金込み）は信託報酬等控除後のものです。収益率は小数点第2位を四捨五入して表示しています。ブルームバーグのデータを基にアストマックス投信投資顧問株式会社が作成。あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果とは異なります。グラフにおいて使用している価格や指数等については後掲しております。あくまでも簡易な貢献度分析であり、信託報酬や組入資産の売買手数料等のコストは各組入資産の比率に応じて負担したものと仮定しています。小数点第2位を四捨五入して表示しておりますので、合計が一致しないことがあります。

※表紙の【本資料のご利用についてご留意いただきたい事項】をご確認ください。

金ETFの残高推移及び金価格と実質金利の関係

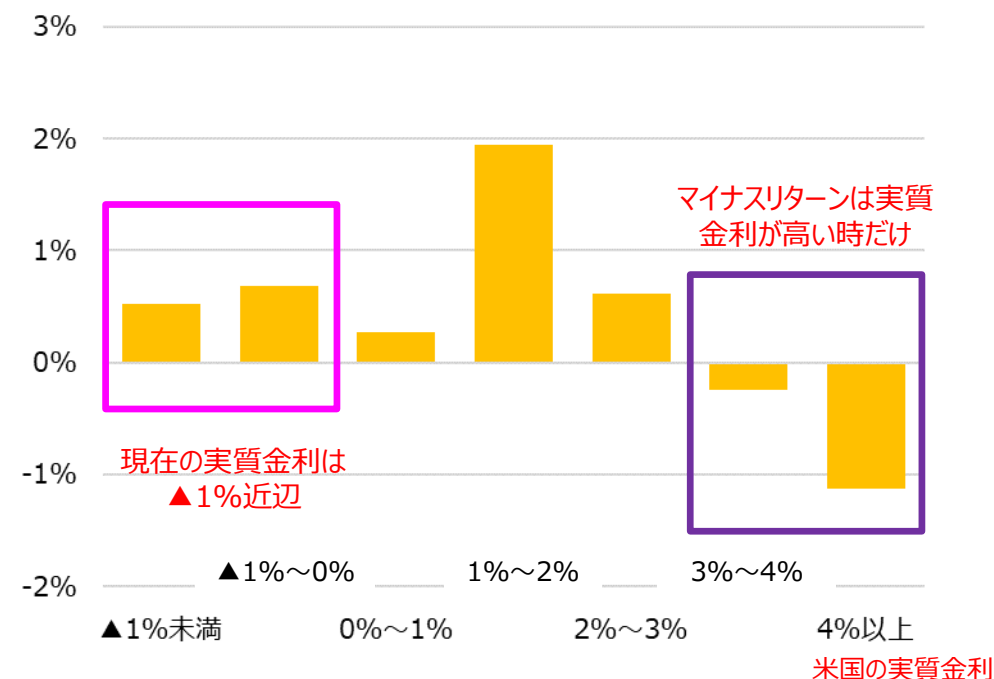
- 「有事の金」「永遠不滅の資産」などと呼ばれ、世界情勢の混乱時に価値保全手段として選好される傾向があります。米国金先物価格は8月上旬に史上最高値を更新し、金塊を裏付けとする金ETFにも資金が流入、残高は過去最高を更新し続けています。
- コロナ禍への対応で各国中銀が金融緩和策を拡充し、「金利を生まない資産」という金のデメリットは薄れました。過去においても米国の実質金利が低い時期には金先物価格は上昇する傾向にありました。

金ETFの残高推移（2003年10月末～2020年8月末）



金先物の月間騰落率と米国実質金利の関係
(分析期間：1986年1月～2020年8月、月次データ)

金の月間平均騰落率



※ ブルームバーグのデータを基にアストマックス投信投資顧問株式会社が作成。あくまでも過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。米国金先物価格はS&P GSCI CME金エクセスリターン指数（米ドルベース）、米国実質金利は「FOMC（米公開市場委員会）金利誘導目標中央値－米国インフレ率（前年比）」で算出した率を使用しています。

投資リスク

■ 基準価額の主な変動要因について
当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて、世界各国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、国内外の債券先物取引及び商品先物取引に実質的に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、全て投資者の皆様へ帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。当ファンドの基準価額の主な変動要因は株価変動リスク、債券先物取引による運用に伴うリスク、商品先物取引による運用に伴うリスク、ファンドの資産配分に係るリスク、流動性リスク、信用リスク、カントリー・リスク、為替リスクなどです。

お客様にご負担いただく主な費用

購入時手数料	購入価額に、 3.30%（税抜3.0%） を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た金額とします。購入時手数料は、購入時の商品および投資環境に関する説明や情報提供、事務手続き等の対価として販売会社にお支払いいただきます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。		
信託財産留保額	ありません。		
運用管理費用 （信託報酬）	信託報酬の総額は、当ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に 年0.583%（税抜年0.53%） の率を乗じて得た額です。委託会社、販売会社、受託会社間の配分および役務の内容については次の通りです。		
		配分（税抜）	役務の内容
	委託会社	年0.25%	資金の運用の対価
	販売会社	年0.25%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
	受託会社	年0.03%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
	実質的な投資対象とする投資信託証券の運用管理費用（信託報酬）等を加えた場合、当該運用管理費用等と信託報酬の合計は、 年0.743%程度 になります。なお、当該合計は、投資信託証券の実際の組入状況等により変動します。また、投資対象とする投資信託証券の変更等（投資対象とする投資信託証券の運用管理報酬等の変更を含みます。）により今後変更となる場合があります。 上記の信託報酬の総額は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支払われます。		
その他の費用 ・手数料	① 法定開示に係る費用、公告に係る費用、信託財産の監査に係る費用、法律顧問、税務顧問に対する報酬等は、信託報酬の支払いと同一の時期に信託財産中から支払われます。 ② 有価証券や債券先物、商品先物売買時の売買委託手数料、借入金の利息、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がお客様の保有期間中、その都度信託財産中から支払われます。 ※ 上記①および②の費用等については、運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。		

※ 手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※表紙の【本資料のご利用についてご留意いただきたい事項】をご確認ください。

販売会社一覧

お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）等のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。

（お取扱い開始日順、お取扱い開始日が同一の場合、五十音順）

販売会社	登録番号	加入協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第624号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第152号	日本証券業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会／一般社団法人第二種金融商品取引業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	日本証券業協会／一般社団法人金融先物取引業協会

当資料で使用している指数等について

世界株式最小分散ETFとはiShares MSCIグローバルミニマムボラティリティファクター・ETF（円換算）、世界株式とはMSCI All Country World Index（新興国を含む全世界株式指数、円換算）、S&P500はS&P500種株価指数（円換算）、欧州株式はSTOXX Europe 600種株価指数（円換算）、新興国株式はMSCI新興国株式指数（円換算）、米国国債先物はS&P米国国債先物エクセスリターン指数（米ドルベース）、日本国債先物はS&P日本国債先物エクセスリターン指数（円ベース）、フランス国債先物はS&Pフランス国債先物エクセスリターン指数（ユーロベース）、米国金先物はS&P GSCI CME金エクセスリターン指数（米ドルベース）、米ドル円はTTM（三菱UFJ銀行対顧客公示相場仲値）です。各指数の円換算はTTMを使用して当社が行なっています。

TOPIXは海外資産同様、期初と期末それぞれの前営業日で比較しています。日本国債先物は同日です。

ウルトラ バランス

世界株式

バランスファンドのその先へ



基準価額、最新の目論見書は
webサイトからご覧いただけます

<http://www.astmaxam.com/criterion/index/>
(パソコン・スマートフォン共通)